

努力賞

大切な平和

荒川区立第九峡田小学校 二年

しづい はると

やなぎ田先生、こんにちは。先生、平和はいいですね。ぼくは、この本を読み、はじめて平和について考えました。

ぼくは、今まで、楽しく食じをしたり、あそんだり、べん強したりすることはあたりまえだと思っていました。でも、この本を読み、このあたりまえの毎日が、平和によるものだとしりました。

ぼくが、一番心にのこったばめんは、みんなで大もりのやきそばを食べているところです。みんなで食べるやきそばは、とてもおいしそうでした。ぼくもこの中に入って、いっしょに食べたいと思

いました。

平和のはんたいは、せんそうです。先生から、せかいには、まだせんそうをしている国があると聞き、本当におどろきました。ぼくは、せんそうのことはよくわからないけれど、本の絵は、とてもこわいものでした。ある日とつぜん、ぼくだんがおちてきて、みんながころされてしまったら、ぜつたいにいやです。

ぼくの毎日は、とても平和です。べん強はむずかしいけれど、友だちと一しょに考えるのは、とても楽しいです。みんなと大すきなサッカーもできます。ぼくは、この平和がいつまでもつづいてほしいです。ぼくだけでなく、せかい中の人たちみんなが、平和にくらせたらいいと思います。

クラスの中でも、もめることはありません。でも、

みんなで話し合い、ゆずりあえば、もんだいは、
かいけつします。なかよくしようという気もちが
大切なのだと思います。みんなが、あい手の気も
ちを思いやったり、あい手の考えを聞いたりすれ
ば、きつと平和な社会になると思います。

やなぎ田先生、ぼくは大きくなったら、せかい
中の人と友だちになりたいです。そしてみんなで
なかよく、平和な社会を作っていきたいと思いま
す。